

# 朝鮮語版・英語版 DVD-R できました！

## 米国の原爆投下の責任を問う会

미국의 원폭 투하에 대한 책임을 묻는 모임

### 詩・朗読「被爆朝鮮人の歴史と現在」に寄せて

#### ‘피폭 조선의 역사와 현재’에 대해서

作詞/朗読 松村高夫 慶応大学名誉教授

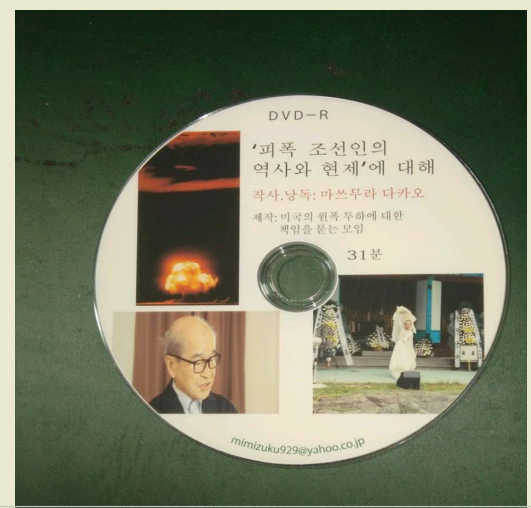
작사/낭독 마쓰무라 다카오 게이오기주쿠대학교 명예

私たち「米国の原爆投下の責任を問う会」は2015年に発足しました。当時北朝鮮やイランなどに対する核攻撃が迫っている情勢、また粘り強く続けられた核兵器廃絶運動にもかかわらず現実には核拡散、強力化になっているのはなぜかという恐れと疑問から始まり、原爆投下の責任をきびしく追及してこなかったと反核運動に欠けていた面を形成しながら核兵器廃絶運動に寄与したいとする団体です。

一方日本の戦争犯罪の責任追及も追及する活動も同時に行い、戦争責任と植民地支配責任追及にも関わっています。植民地支配下にあつて日本に渡ってきて原爆被害を受けた朝鮮人は7万人もいました。彼らの多くの出身地であった「韓国の広島」と呼ばれる韓国慶尚道陝川（ハプチョン）で毎年行われる非核・平和大会に2019年から参加して、2021年の大会にはオンライン参加して、詩の形式で報告しました。その報告を新たにDVD化して、テロップでの朝鮮語・韓国語版も作ったものです。

**朝鮮・韓国、反核・非核問題を考える方には必見のDVDです。頒価 500円**

DVD右下写真はハプチョン原爆犠牲者慰霊閣における8.6慰霊祭の様子



朗読詩の内容は、米国核開発の歴史、日本のポツダム宣言を巡る米国側の画策、など一般に知られていないままだった歴史事実を明らかにしています。朝鮮人を被爆に巻き込んだ植民地期の日本の徴用、連行政策の歴史過程を述べ、責任を告発しています。全世界に、特にソ連に向けて原発開発成功を誇示するために、米国は日本人を目標にして原爆投下をしました。その戦争犯罪は朝鮮人たちも巻き込んだのです。

連絡先 芳賀普子 (HAGA)

[日付を選択] [第1版、第1刷] Hiroko) 080-3460-8519 まで